

取扱説明書



上部に使つて上部(電源)

家庭用

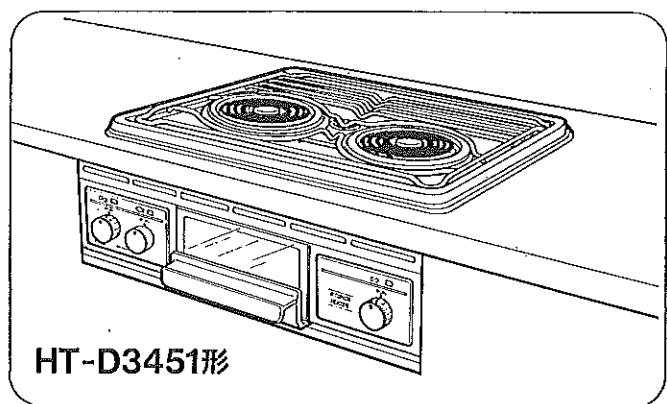
日立電気キッチンヒーター

HT-D3451形・HT-D4451形

このたびは日立電気キッチンヒーターをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

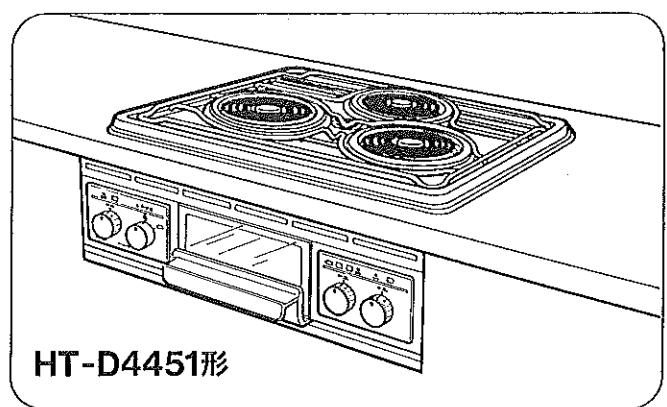
お読みになった後はご相談窓口一覧表、保証書とともに大切に保存してください。



HT-D3451形

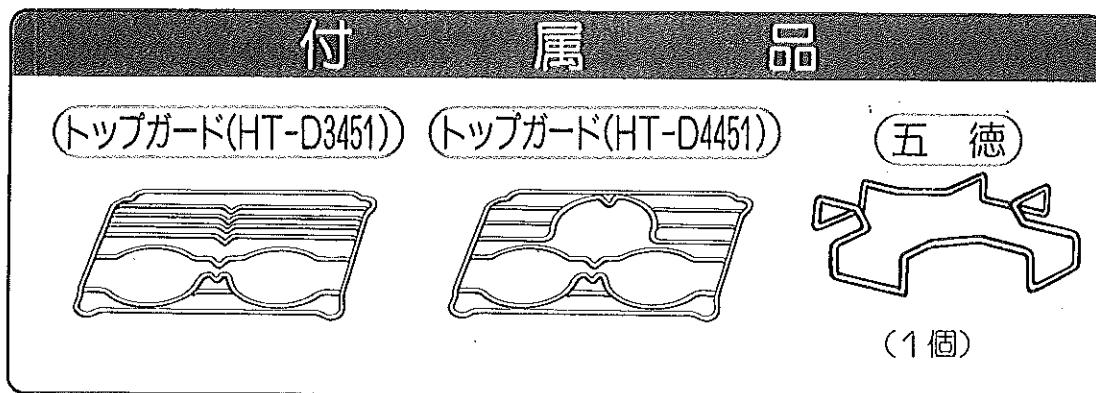
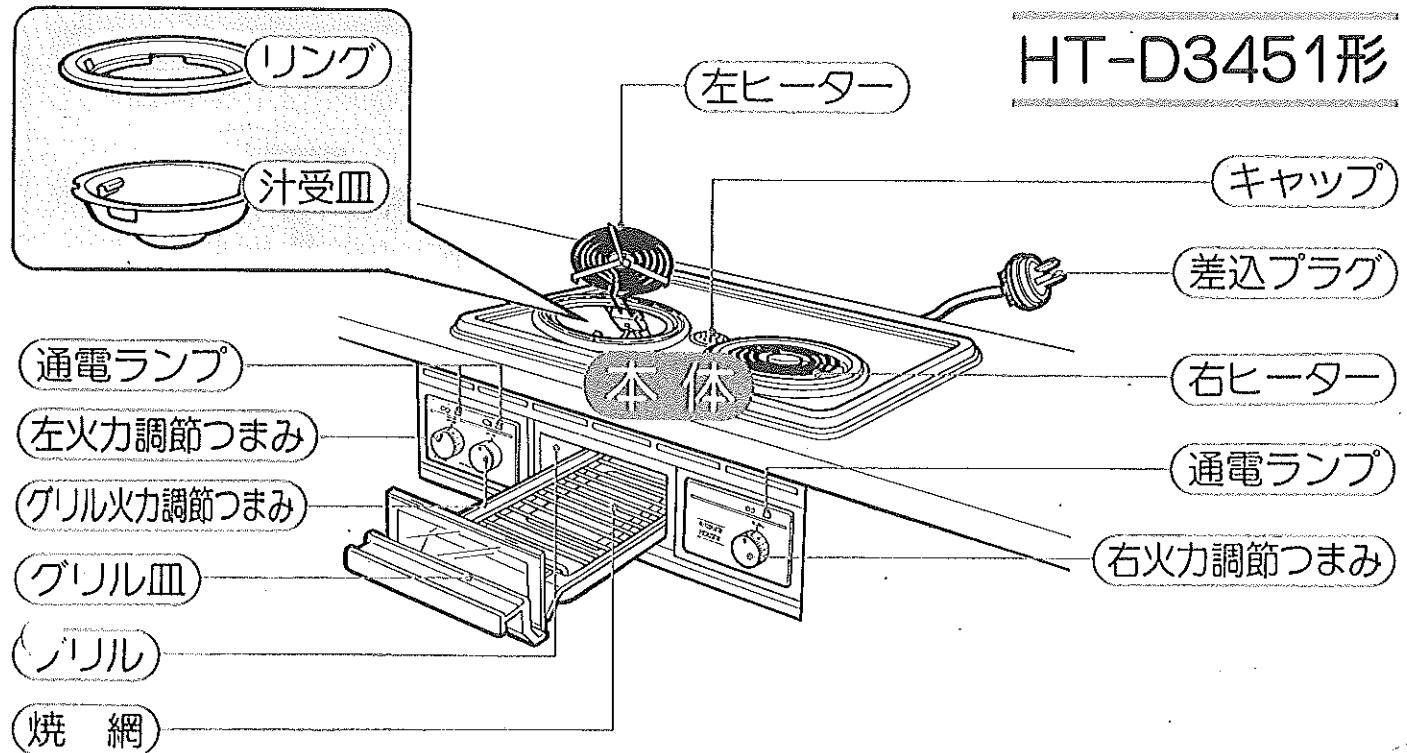
もくじ

各部のなまえ	1
使いかた ヒーター	2~4
グリル	2~4
必ずお守りください	5
じょうずな使いかた	5
お手入れ	6
仕様	7
アフターサービスと保証	7



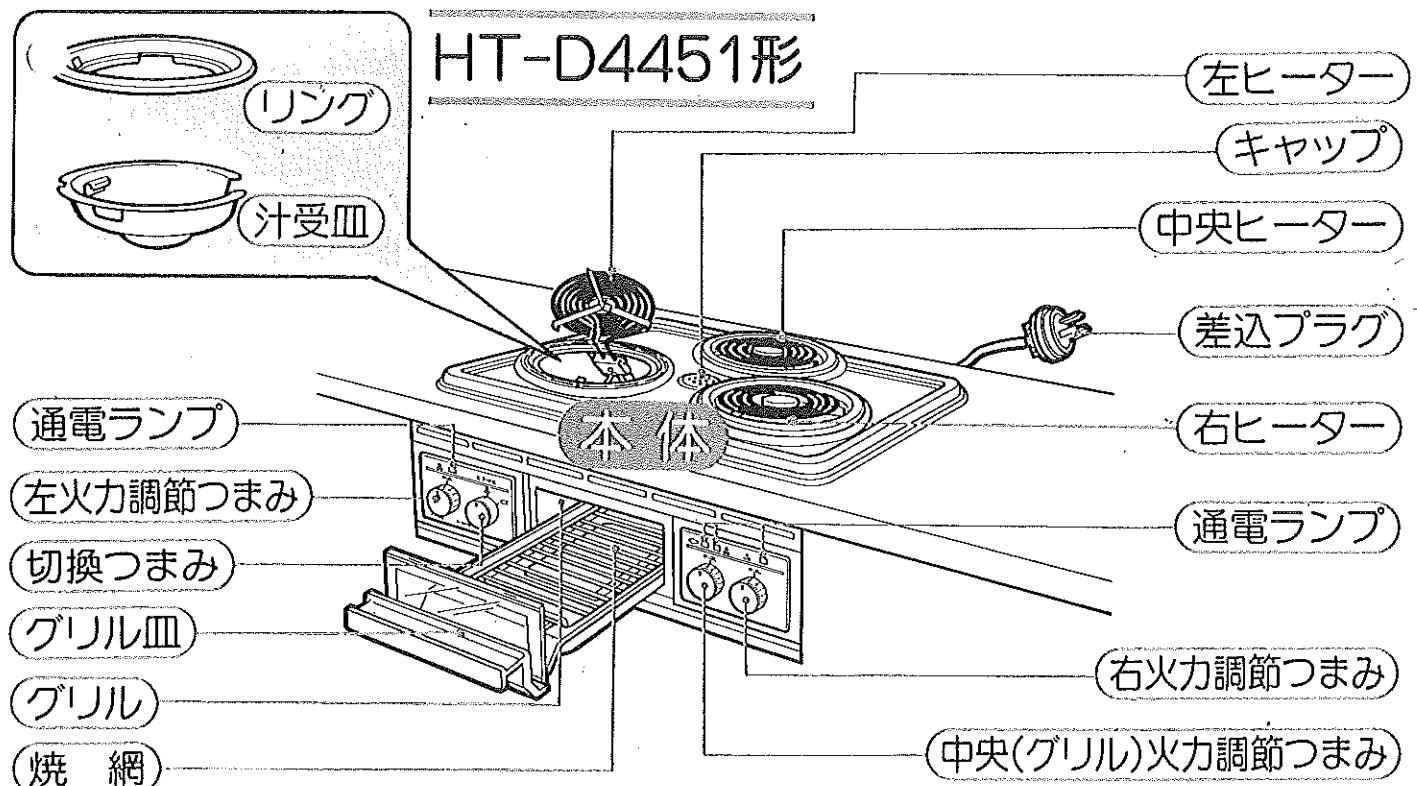
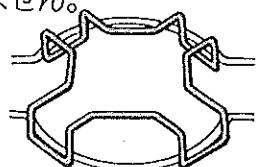
HT-D4451形

各部のなまえ



五徳の位置

右ヒーター、左ヒーターともあります。
中央ヒーターには入ります。

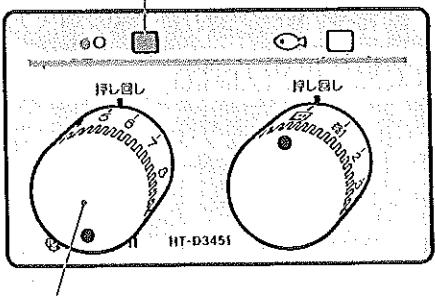


使いかた

ヒーター

左ヒーターを使う場合

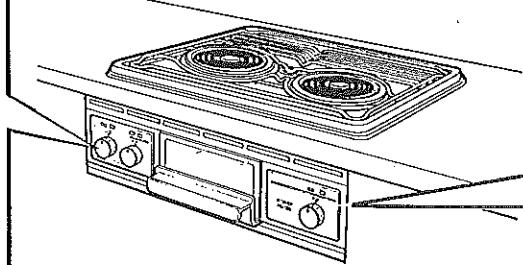
通電ランプ



左火力調節つまみ

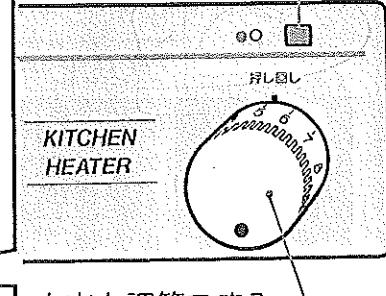
- ①左火力調節つまみを右または、左に押し回します。
- ②●印側の通電ランプが点灯します。

HT-D3451形



右ヒーターを使う場合

通電ランプ



右火力調節つまみ

- ①右火力調節つまみを右または、左に押し回します。
- ②●印側の通電ランプが点灯します。

火力調節つまみ

左右どちらでも回る押し回し式です。

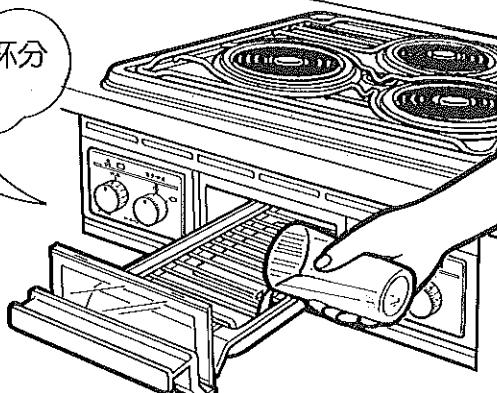
通電ランプ

火力調節つまみを目盛り「弱」～「強」に合わせると点灯しヒーターに通電されたことを示します。

グリル

1 水を入れます

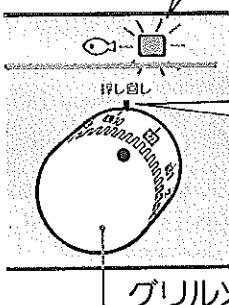
コップ1杯分
くらい



2 予熱します(1~2分)

HT-D3451

通電ランプ
点灯



グリル火力調節つまみ

グリル火力調節つまみを「強」にする

HT-D4451

切換つま
●印に合



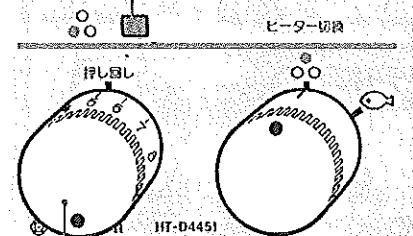
切換

水を入れないと煙が多く出たり、庫内の汚れがひどくなります。

- ヒーターに始めて通電しますと、煙が出ますが故障ではありません。
- 予熱をすると魚などが焼網にこびりつきにくくなります。

左ヒーターを使う場合

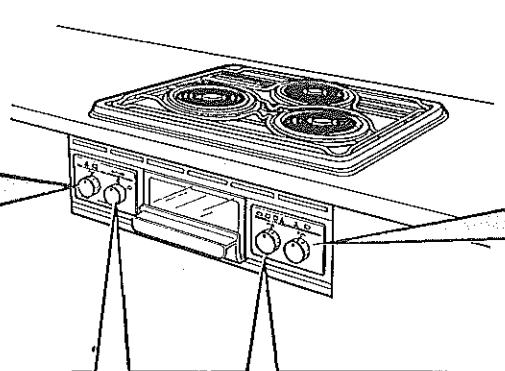
通電ランプ



左火力調節つまみ

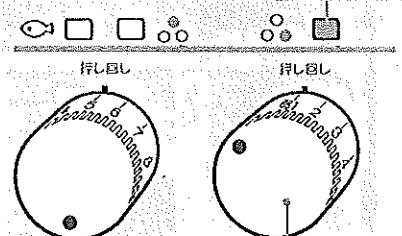
- ① 左火力調節つまみを右または、左に押し回します。
- ② ○印側の通電ランプが点灯します。

HT-D4451形



右ヒーターを使う場合

通電ランプ

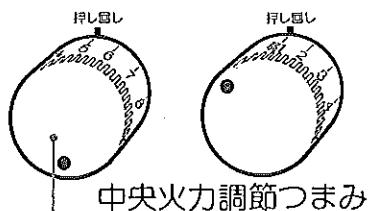


右火力調節つまみ

- ① 右火力調節つまみを右または、左に押し回します。
- ② ○印側の通電ランプが点灯します。

中央ヒーターを使う場合

通電ランプ



切換つまみ

中央火力調節つまみ

- ① 切換つまみを○印に合わせます。
- ② 中央火力調節つまみを右または、左に押し回します。
- ③ ○印側の通電ランプが点灯します。

3 魚など焼くものを入れます

通電ランプ
点灯

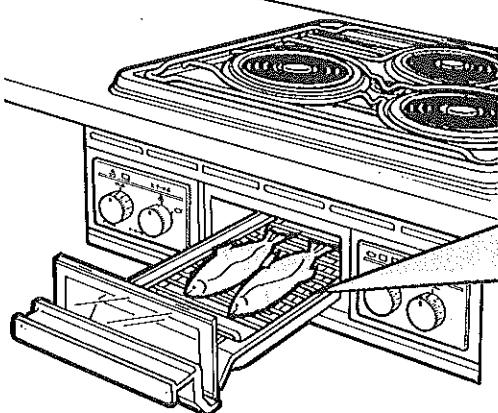
グリル
火力調節
つまみを
「強」にする

グリル火力調節つまみ

焼網の使い方

厚い魚の場合

薄い魚の場合



つか
せる



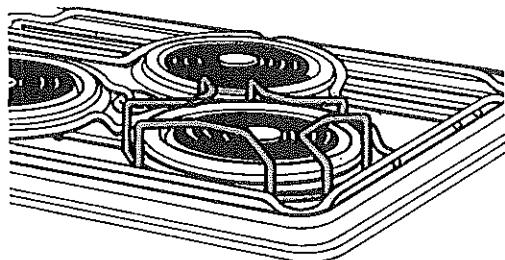
つまみ

ありません。

グリルのガラスに水がかかると割れることがありますのでご注意ください。

頻繁よくご使用いたたくために、いつもきれいにしてお使いください。

五徳の使いかた



均一な熱が必要な
ホットケーキや、
網でもちなどを焼
くときに使います。

通電をやめるときは

- ①火力調節つまみを「切」に合わせます。
- ②通電ランプが消灯します。

火力の目安

	弱1	2	3	4	5	6	7	8	9	10強
--	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

HT-D3451形	右ヒーター	とろ火	弱火	中火		強中火	強火
	左ヒーター	とろ火	弱火	中火	強中火	強火	
	グリル	とろ火	弱火	中火	強中火		
HT-D4451形	右ヒーター	とろ火	弱火	中火	強中火	強火	
	左ヒーター	とろ火	弱火	中火	強中火	強火	
	中央ヒーター	とろ火	弱火	中火	強中火		
	グリル	とろ火	弱火	中火	強中火		

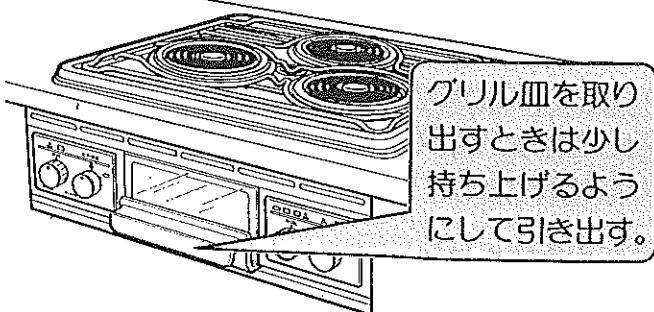
ヒーターは火力調節をしても余熱が残っていますのですぐには火力が変わりません。ふきこぼれや焦げつきに気をつけてください。

火力調節つまみを「弱」と「切」、「切」と「強」の間では使わないでください。電気が切れない場合や通電しない場合があります。

- 上面がお好みの焼け具合になつたら裏返してください。
- 火力が強すぎる場合は調節してください。

4 使い終ったら

- ①グリル火力調節つまみを「切」に合わせます。
- ②○印側の通電ランプが消灯します。



グリルは通電をやめても余熱で高温になっています。調理物を入れたままにしておくと焦げすぎることがありますので早めにグリルから出してください。

必ずお守りください

感電・火災・やけど
故障を防ぐために

各

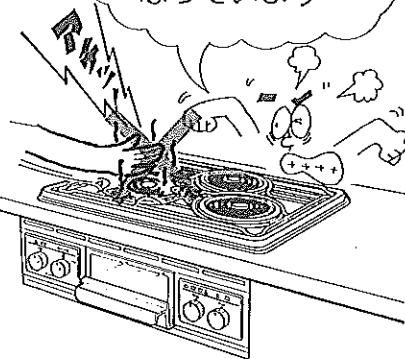
電源は正しく

電気工事店または施工主に工事が確実に行われているかご確認ください。



やけどに注意

使用中、使用直後はヒーターは熱くなっています



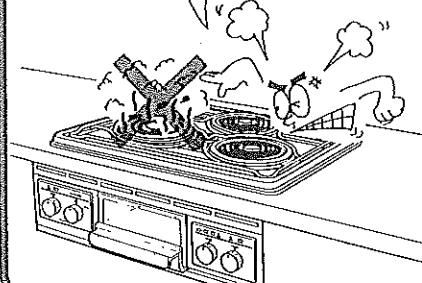
長期不在のときは

差込プラグを抜くか、専用回路のブレーカーを切る

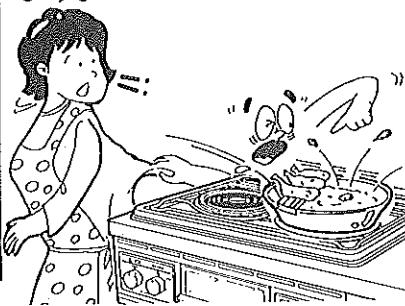


使用中の注意

ヒーターの空焼きはしないで



天ぷらなど油調理中は、その場を離れないでください。加熱しすぎると油が燃え出します。



魚焼きなどの汁のたれるものは網焼きしないで



おみそ汁などのふきこぼれにも注意しましょう。

じょうずな使いかた

底の平らな深目のなべを

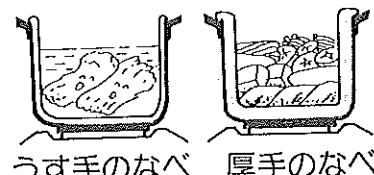
なべ底が平らなものは熱効率が良く、深目のものはふきこぼれを少なくします。
凸凹の底形状のなべでは熱効率が悪くなります。

- なべの大きさはヒーターの直径と同じか、やや大きめが適しています。

ゆでものはうす手、煮込みは厚手のなべを

青菜などをゆでるときは

シチューなどなべ物など



余熱を利用しましよう

ヒーターを「切」にしても相当の余熱が残りますので、焦げつきなどを防ぐために少し早めに切る感覚でお使いください。

スイッチを少し早めに切る



お手入れ

(イラストはHT-D4451形ですが、
HT-D3451形も取り扱いは同じです。)

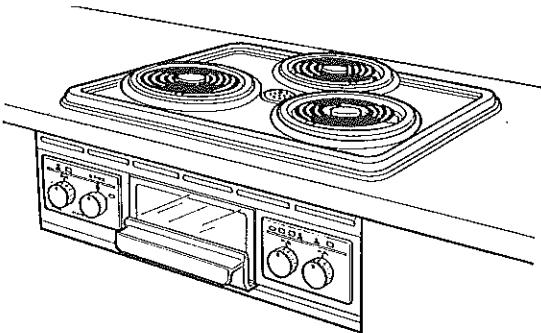
こびりつきをつけること

- ・本体がさめてから行ってください。
- ・台所用洗剤以外は使わないでください。

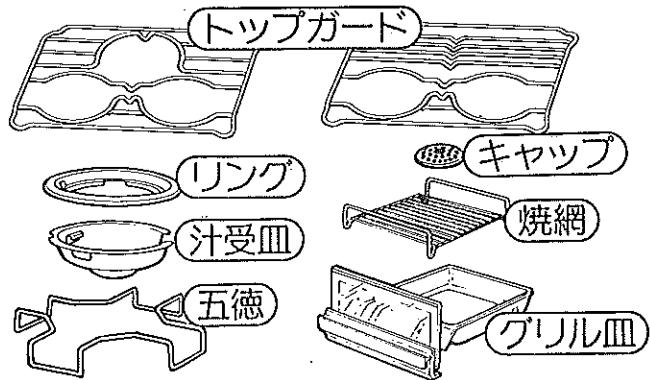


表面を傷めます

本体・ヒーター



固く絞った布でふいてください。

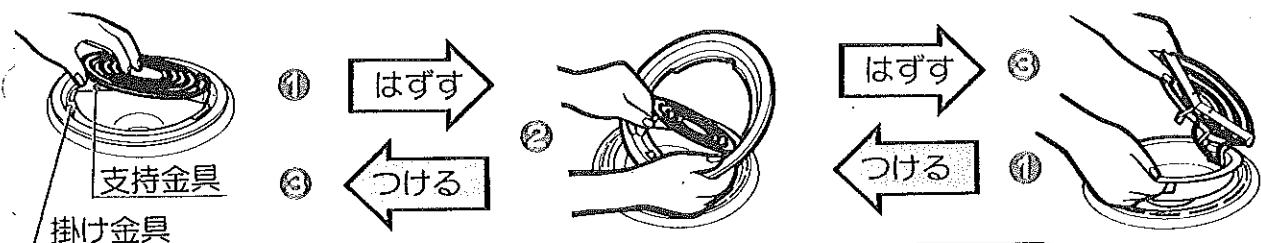
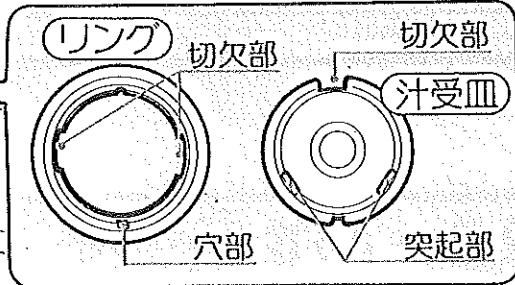
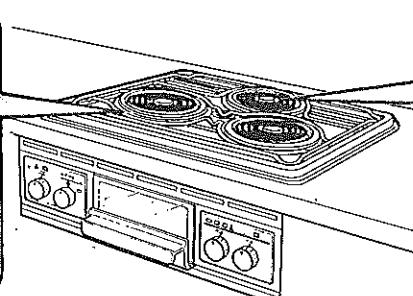
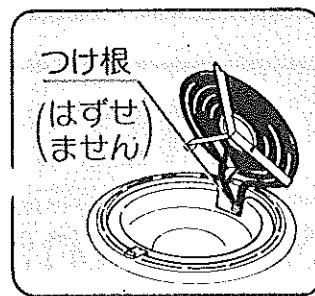


取りはずして洗い、その後乾いた布でふいてください。

(お手入れ後はもとどおり取りつけておいてください。)

こびりつきがひどい場合は、しばらく湯につけてから洗ってください。

リング、汁受皿のはずしかた・つけかた



はずしかた

- ①ヒーターの前面に手をかけて後(つけ根)へ押し、支持金具を掛け金具からはずします。
- ②リングの切欠部にヒーターを合わせるようにしてリングをはずします。
- ③突起部に手をかけて汁受皿を取ります。

つけかた

- ①汁受皿の切欠部をつけ根に合わせてセットします。
- ②リングの切欠部にヒーターを合わせるようにリングをセットします。
- ③リングの穴部と掛け金具を合わせ、支持金具を掛け金具にセットします。

仕様

HT-D3451形

HT-D4451形

電 源	単相 200V	
消費電力	右ヒーター	約150W~1,500Wまで無段階火力調節
	左ヒーター	約200W~2,000Wまで無段階火力調節
	中央ヒーター	約100W~1,000Wまで無段階火力調節
	グリルヒーター	約100W~1,000Wまで無段階火力調節
ヒーター切換	——	中央ヒーターとグリルヒーターの切換
コードの長さ	0.6m	
差込プラグ	3極差込接続器(1極接地用)	
	30A-250V	
大きさ	本体	幅 60.6cm 奥行 57cm 高さ 25.2cm
	グリル	幅21.5cm 奥行32.5cm 高さ8.7cm(有効5.0cm)
重 さ	約17kg	約18kg

アフターサービスと保証

保証申請に際してお困りのときは

直ちに専用回路のブレーカーを切って使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。

保証について

- この商品は保証書付です。
- 保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容を確認のうえ大切に保存してください。

アフターサービスを依頼するときは

次のことをお知らせください。

- ①品名………日立電気キッチンヒーター
- ②形名………HT-D3451形またはHT-D4451形
- ③症状………できるだけくわしく
- ④道順………付近の目印も

転居による場合は

ご転居によりお買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電品の取扱店を紹介させていただきます。

アフターサービスについて

ご不明の場合は、その他お困りの場合は

お買い上げの販売店か別紙(黄色用紙「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

保証について

- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
- 保証期間中でも有料となることがありますので保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間にについて

電気キッチンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。

- この期間は通商産業省の指導によるものです。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

日立家電販賣株式會社

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 502-2111

日立熱器具株式會社

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 502-2111

日立冷熱株式會社

〒101 東京都千代田区神田須田町1-23-2
(大木須田町ビル)
電話 (03) 255-7271

08 F (M) D34511 816036